年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（５学年用） 教科　地理歴史　　科目　日本史探究

教　科：　地理歴史　　科　目：　日本史探究　　単位数：　　単位

対象学年組：第　5 学年　A 組～　D 組

使用教科書：（ 日本史探究　（山川出版社）　　）

教科　地理歴史　　の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　日本史探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、時期・年代や国内の関係性だけでなく、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的にとらえて理解し諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関する事項について、時期や年代、事項の推移、事項の相互の関連性について、身につけた知識をもとに多面的・多角的に考察したり、考察した結果を論理的かつ効果的に説明したり、議論したりする能力を身につけるようにする	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、見つけた課題を自国・他国の歴史と関連させ、より良い解決を図る方法を考えるなど、時代に主体的にかかわろうとする姿勢を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元：日本文化のあけぼの 【知識及び技能】 遺跡や遺物、文書など様々な資料に着目し、資料に基づく歴史の叙述など、歴史を考察する基本的な方法を学習を通じて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジア世界との関係やその変化といった東アジア世界の国際社会の中における日本や、完新世の始まりなど自然環境の変化への適応と文化の形成について説明できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域の博物館などの展示の見学や、年表や地図などの視覚資料の作成などを通じて歴史への関心を高めると同時に、文化財保護の重要性に気付かせる。	日本列島における旧石器文化や縄文文化の成立を、自然環境の変化や大陸との交流などに着目してとらえることに主眼を置いて指導を行う。 ワークシート、資料集 可能であれば、世界史探究の資料集なども用いる。	【知識・技能】 年代に即して、旧石器時代から新石器時代へと変化する中で、国内で使われていた道具の変遷を正確に捉えている。 【思考・判断・表現】 黒曜石の移動など、歴史的事象と考古学的事象を考慮しながら説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 同時期の世界の人類の様子や、時代が変わる要因となった気候変動について、日本史の枠にとらわれることなく、学んだ知識に基づいて説明することができる。	○	○	○	15
	B 単元：律令国家の形成 【知識及び技能】 弥生時代や古墳の文化を経て、我が国において国家が形成され、飛鳥の朝廷が成立する過程について習俗を含めて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古墳文化や飛鳥文化といった国内の古代文化の発祥について、隋・唐といった東アジア諸国との関係も視野に入れ、文化の特色とその成立の背景を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 仏教の導入などの宗教的変遷について、日本の従来の信仰との反発・融合の過程を学習する中で、公平に各時代を考察する能力を養う。	日本列島に存在していたクニが、様々な過程を経てまとまっていく過程について理解する。 資料集や史料集を積極的に活用し、古代中国の国々と日本の各クニの関係を考察する。なお、学習においては、まだ決着のついていない問題も多いことを生徒に理解させる。	【知識・技能】 日本における国家の形成と古墳文化の特色について、正確に事項を理解している。 【思考・判断・表現】 古墳文化の形成における古墳の形態の変遷や、仏教の輸入と国内での需要の過程に対して、文字や知識の流入なども併せて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 氏や姓といった現代と同じ語句を用いているが、意味が違う単語なども登場する。語句が用いられていた当時の日本の社会体制などを念頭に置き、柔軟に理解することができる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	C 単元：律令国家の形成 【知識及び技能】 弥生時代の文化を経て、我が国において国家が形成され、律体制が成立する過程について習俗を含めて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古墳文化や天平文化といった国内の古代文化の発祥について、隋・唐といった東アジア諸国との関係も視野に入れ、文化の特色とその成立の背景を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 仏教の展開などの宗教的変遷について、日本の従来の信仰との反発・融合の過程を学習する中で、公平に各時代を考察する能力を養う。	律令国家が形成される過程について理解する。 資料集や史料集を積極的に活用し、古代王権の在り方を考察する。なお、学習においては、まだ決着のついていない問題も多いことを生徒に理解させる。 ワークシート、資料集、史料集	【知識・技能】 日本における国家の形成と律令体制の特色について、正確に事項を理解している。 【思考・判断・表現】 仏教の受容の変遷について、伽藍配置の変化なども併せて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代王権と律令国家に形成ついて、対外関係も意識しながら、柔軟に理解することができる。	○	○	○	20
	D 単元:貴族政治の展開 【知識及び技能】 貴族政治の展開を財政的に支えた受領たちの動向や国風文化とともに理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 貴族政治の展開や国風文化、地方政治の展開と武士の台頭の様相について説明できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 貴族政治の展開や国風文化、地方政治の展開と武士の台頭の様相を学習する中で、公平に各時代を考察する能力を養う。	貴族政治の展開と国風文化、地方政治の展開と武士の成長過程について理解する。 資料集や史料集を積極的に活用し、貴族政治の実態を考察する。なお、学習においては、まだ決着のついていない問題も多いことを生徒に理解させる。 ワークシート、資料集、史料集	【知識・技能】 貴族政治の展開と国風文化、地方政治の展開と武士の成長過程について、正確に事項を理解している。 【思考・判断・表現】 貴族政治の展開と国風文化、地方政治の展開と武士の成長過程について、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 貴族政治の展開と国風文化、地方政治の展開と武士の成長過程氏や姓といった現代と同じ語句を用いているが、意味が違う単語なども登場する。語句が用いられていた当時の日本の社会体制などを念頭に置き、柔軟に理解することができる。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1

2学期	E 単元:院政と武士の躍進 【知識及び技能】 貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとする。	院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。また、外戚関係や人材登用など、後三条天皇が摂関家に遠慮せず改革を進めた背景を考察する。 ワークシート、資料集、史料集	【知識及び技能】 貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	○	○	○	15
	F 単元:武家政権の成立 【知識及び技能】 諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出す。	鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。また、承久の乱にともなう公武関係の変化に着目して、将軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。 ワークシート、資料集、史料集	【知識及び技能】 諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	G 単元:武家政権の成長 【知識及び技能】 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出す。	南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。また、琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。 ワークシート、資料集、史料集	【知識及び技能】 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	20
	H 単元:近世の幕開け 【知識及び技能】 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。また、織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。 ワークシート、資料集、史料集	【知識及び技能】 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
							合計 140